

# 増刊HSK

## 会報「石川守る会」

NO. 99

石川県重症心身障害児（者）を守る会

全国重症心身障害児（者）を守る会

石川県支部 会長 山本 衛

厳しい寒さが続いていた北陸にもようやく春の訪れが感じられるようになりましたが、 会員の皆様方、お子様たちにお変わりはないでしょうか。

コロナ感染対策も少しずつ解除されるようですが、高齢者や重症心身障害児者にとってはまだまだ心配な状況です。十分な対策を講じながら少しずつ活動を再開できればと考えています。

世界各地で戦争や大災害が起きています。石川県でもこの寒さの中停電や断水が続いた地域もあり、大変ご苦労されたことと思います。

そんな状況になったときに最も困難な状況におかれるのは高齢者や障害のある人や病気の人たちです。

行政に素早い対応を求めるとともに、私たち自身も日頃より必要な対策を考えておくことが大事だと思います。

何よりも、誰もが安心して暮らせる平和な世の中になることを願ってやみません。

「第32回東海・北陸ブロック大会」報告その2

二日目 11月20日(日)「みんなで話そう」

① グループ 「ショートステイ施設不足の実態と解消のためにどう行動していったらいいか」

- ・地域によって対策がバラバラである。医ケアの無い人の受け入れが困難な地域もある。
- ・「守る会」で情報を集約し、国(行政)に申し入れをすることが必要であると思う。
- ・在宅で頑張るためにはショートステイの充実は欠かせないことを行政の人たちに理解してもらうことが大切である。
- ・日本国内どこでも同じようにサービスが受けられるようにして欲しい。

② グループ 「親の思い・家族の思い」

- ・参加者それぞれの親の思いや意見が聞けてよかった。
- ・障害のある子のことだけでなく、家族を含めて思いを話し合うことが大切だと思った。
- ・父親としての思いや関わり方、また家族間での意見の違いなど考えさせられる点も多くあった。
- \*アドボカシー・・・社会的に弱い立場にある人の権利を守り、首長を代弁すると言う意味で使われている言葉です。

③ グループ 「介護限界から入所を検討するとき」

- ・現在在宅だが、そろそろ入所を考えているができるだけ家族で一緒にいたいと言う気持ちとの葛藤。
- ・施設に早めに慣れて親も子離れする気持ちを持つことも必要だと思います。
- ・コロナ禍になって入所中の様子が知りにくくなっている。職員の不足で、子どもたちへの対応が以前より減っている感じがする。
- ・入所を考えている施設とショートステイ利用などで関係を密にしておくことも必要。
- ・親の限界が来る前に、本人の自立のためにも入所を考えなければと思うが、特に今はコロナ禍で面会も思うように出来ないとの話を聞くと考えてしまう。
- ・緊急時の一斉連絡の方法も大切で、検討していく必要がある。

④ グループ 「コロナ禍での施設対応(面会状況など)」

参加された12施設の状況が話されました。

- ・面会にPCR検査などの費用がかかった。
- ・最初は車の中から病院の散歩の様子を見るだけ。悪天候ならリモート面会で対

応した。しばらくすると屋外のテント内でビニールシートで区切りシート越しに話しかけが出来るようになった。

現在は直接面会出来るが防護服の着用や細かいチェックシートの記入が必要である。

- ・毎朝本人の写真と現状報告が届く。
- ・面会制限は子どもにとって差別ではないか。本当に必要だったのかとの意見もありました。
- ・子どものために親の会から資金を出して音楽を楽しめるように設備を整えたことはよかった。

#### ⑤ グループ 「父母の会・保護者会の存続必要性について」

- ・親の会や守る会をどのようにまとめていくか、みなさんの悩みは同じで、みなさんの意見を聞くことによって会のあり方などを考え直す必要があると感じました。
- ・コロナが収束したら何をしたいか情報交換をしていくことも必要
- ・他県の施設の先輩会長さんたちのお話を聞いて、みなさんととても努力されていて素晴らしいと思いました。私も微力ですが、努力を惜しまず頑張りたいと思いました。

グループ討議の時間は短かったのですが、久しぶりに他県の情報も知ることができて帰ってからの対応に生かしていければと思いました。

今回の大会について感想を頂きましたので紹介します。

- ・コロナ禍の中難しい選択だったと思いますが、参加できてよかった。
- ・オンライン参加は現地参加できない人も参加できてよかったが申し込みが少しわかりにくかった。
- ・田中先生の講演は心暖まるお話で励まされました。ただ音響が悪く聞きにくかったのが残念でした。
- ・中本さんと永井さんの防災訓練のお話は具体的でわかりやすく、参考になりました。
- ・災害から生き延びるための備えや、綿密な個別計画の必要性がよくわかりました。
- ・医王病院での「このこの」活動にほのぼのとした親の思いが伝わってきました。
- ・各地域からの報告もあり、大変内容の濃い時間でした。
- ・コロナ禍で集まることも出来ず、皆さん同じように苦戦されています。こんな時こそお互い協力しあっていこうと思いました。
- ・コロナ禍で難しいとは思いますが、今回参加できてよかったので今後も工夫しながら続けていけたらいいと思いました。

第三種郵便物承認 増刊HSK通巻5682号 2023年3月24日発行  
「いしかわ医療的ケア児支援センター」の主催で以下の会が開かれます。

いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの主催

医療的ケアが必要な子どもとそのきょうだい児の語り

参加申込書

「兄と暮らして見えたこと」僕の障がい観

演者:永井 太郎さん

「兄と暮らして見えたこと」私の歩みとこれから

演者:金谷 萌子さん

「父がおもう我が家の楽しみ」

演者:高松 昌一郎さん

日時:2023年3月25日(土) 13:30~15:30

会場:地場産業会館

開催方法:会場参加もしくはオンライン配信

添付の申込書を郵送もしくはFAXにてお申し込みください。

申込み・問い合わせ:いしかわ医療的ケア児支援センターこのこの

金沢市岩出町二 73-1 国立病院機構 医王病院 外来棟内

電話:076-203-6090

メール:

担当:中本 富美

|      |                                                                                                                                                                  |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 氏 名  |                                                                                                                                                                  |
| 所 属  | <input type="checkbox"/> 子ども・家族                                                                                                                                  |
| 職 種  | <input type="checkbox"/> 医療機関<br><input type="checkbox"/> 福祉関係<br><input type="checkbox"/> 教育関係<br><input type="checkbox"/> 行政関係<br><input type="checkbox"/> その他 |
| 連絡先  | 電話:<br>メールアドレス:                                                                                                                                                  |
| 参加方法 | <input type="checkbox"/> 会場<br><input type="checkbox"/> オンラインにて参加                                                                                                |
|      |                                                                                                                                                                  |
|      |                                                                                                                                                                  |

参加申込み締め切り:2023年3月15日(水)

計 報 全国重症心身障害児(者)を守る会会長の北浦雅子様が101歳でお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

編集人 石川県重症心身障害児(者)を守る会  
連絡先 929-0123 石川県能美市中町ツ 88-1  
Tel0761-56-0610  
会長 山本 衛  
発行人 北陸障害者定期刊行物協会  
富山市今泉 312 番地  
定 価 30 円